

第21期第12回常任理事会議事録

日時 昭和56年7月25日(土) 9.45~11.30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 小平, 荒井, 内田, 河村, 黒木, 杉村,
竹内, 二宮

報告

- [庶務] 1. 6月29日, 日産科学振興財団理事長 川又克二氏から, 第8回日産学術研究助成候補推薦依頼がきた(締切11月30日).
2. 7月2日, 秋季大会準備委員長から, 昭和56年度秋季大会会場宿泊案内について報告がきた.
3. 7月9日, 朝日新聞社企画部朝日賞から, 「朝日賞」候補推薦依頼がきた(締切9月末日).
4. 7月17日, 東京地学協会から, 国連大学と共同してシンポジウム「人類の発展と地球科学の役割」を開催されるとの案内がきた(10月11~16日, 東京地学会館).
5. 7月20日, 日本気象学会事務局は, 7階772号室に移転した. 内線は469番である.
6. 7月23日, 第19回粉体に関する討論会世話人 竹中英雄氏から, プログラムの掲載方依頼がきた.

[天気] 8月号から“WCPの窓”を設ける.

[気象集誌] 編集委員のうち, 岩嶋樹也氏, 斉藤直輔氏から辞任の申し出があるので, 補充を考慮したい.

[教育と普及] 夏季大学の申し込みは70名となっている。「科学朝日」に来年1年間分かりやすい気象学を連載することになった.

議題

1. 100周年記念事業について
- (1) 記念式典会場並びにパーティについて
- (2) 57年春季大会会場について
- 以上(1)(2)項とも日本教育会館を予約した.
- なお, 小平準備委員長から, 100周年記念事業計画内容の現況報告を「天気」に掲載したい旨提案があり承認された.
- (3) シンボルマークについて

気象学会のマークを会員から募集することについては, 前の常任理事会で決定したが, その募集内容(案)が, 小平準備委員長から提案され, 「天気」に告示して公募することが承認された.

2. 学会事務局の移転について

庶務報告にもあるとおり, 7月20日7階772号室に移転した.

なお, 応接テーブルを兼ねて, 小会議ができるような机, 椅子を購入することが了承された.

3. 在庫品の頒布について

事務局から提出の「気象研究ノート」「統・気象学の手引」等の在庫品リストを「天気」に告示し, 会員に頒布することが了承された.

4. その他

(1) 第2回水資源シンポジウムについて

国土庁水資源局から, 上記開催の打合会に出席方要望があったので, 河村理事に依頼した.

(2) 第19回粉体に関する討論会のプログラムの掲載について, 世話人 竹中英雄氏から依頼があったが, 掲載しないこととした. なお, 学協会の関連行事予定では, 実施計画について「天気」に掲載した.

(3) 熱帯気象のシンポジウムについて

岸保理事長から次のとおり中間報告があった. WMOから正式に開催の通知がきた. それによると,

(ア) 日本でプログラムの原案を出して欲しい.

(イ) アメリカ気象学会と共催であること.

日本からは, 片山 昭(気象研究所予報研究部長) 村上勝人(気象研究所台風研究部) 吉田泰治(気象庁電子計算室長)氏等を推薦してあるので, 片山 昭氏から回答してもらうこととした.

すなわち, 会期は57年10月18日から6日間とし, 場所は気象庁講堂で行うことを申し入れる. また, プログラムの原案は8月はじめに送る.

承認事項 山沢弘実ほか6名の新入会員を承認.